

3 医療・介護・福祉の充実

(注1) 経済対策による実施予定数等は、H20.2月補正予算、H21当初予算及びH21.6月補正予算の各経済対策における予定数等の合計値です。

(注2) 予算額の表記区分

2月：H20.2月補正予算額、当初：H21当初予算額、6月：H21.6月補正予算額

○ しまねのがん対策の強化

303百万円

6月： 303百万円

(1) がん対策募金事業への支援

がん医療水準の早期向上を図るため、県民や企業の皆様から寄附を募り、がんの診断や治療のための高度医療機器を整備することを目指している「がん対策募金（財団法人島根難病研究所）」に対して県からも支援します。

- ・募金目標額：7億円
- ・H21年度末の募金総額（見込）：4.5億円
- ・県からの支援：2億円

(2) 全国がんサロン交流会開催への支援

県内にはがん患者や家族の方が交流したり、相談支援を行う「がんサロン」が開設されています。この度、サロン発祥の地である島根県において、がん対策への県民の皆様の理解を広げるため、全国交流会が開催されることとなり、県はこれを支援します。

(3) 浜田医療センターのPET-CT整備への支援

がん治療をはじめとした県西部の中核的病院としての機能の充実を図るため、成人病予防センターの機能を合わせもつ浜田医療センターが導入するがんの発見に効果的なPET-CTの整備を支援します。

○ 重症難病患者の在宅療養の支援

5百万円

6月： 5百万円

- ・ALS等の神経難病患者のコミュニケーション手段の確保を図るため、貸出用意思伝達装置を整備します。
- ・在宅療養において必要となるたん吸引の技術を習得するための研修機材を整備します。

[整備予定数]

- ・意思伝達装置： 5台
- ・研修機材： 4台

○ **社会福祉施設等の安全・安心な整備** **1, 743百万円**

当初： 287百万円 6月：1,456百万円

入居者が安全・安心に生活できるよう障害者施設、救護施設、児童養護施設などの社会福祉施設等の耐震化、スプリンクラー整備などを促進します。

[施設耐震化予定数：8施設]

[スプリンクラー設置予定数：28施設]

○ **障害者の自立支援** **2, 003百万円**

2月：1,086百万円 当初： 357百万円 6月： 560百万円

(一部の事業は雇用対策事業として実施しています)

(1) **事業者の運営安定化の支援**

障害者の自立支援に適したサービスへ円滑に移行するため、障害者福祉サービス事業者が実施する施設・設備の改善などを支援します。

(2) **障害者の地域における自立支援**

福祉施設で働く障害者の工賃向上を図るための事業者の取組を支援します。

[各種支援員等の配置・派遣予定数]

(障害者雇用促進支援員) 14名程度

(工賃向上アドバイザー) 2名程度

(販路開拓・営業活動強化のための支援員) 40名程度

○ **視聴覚障害者への良質な情報の提供** **3百万円**

6月： 3百万円

視聴覚障害者が良質な情報提供を受けられるよう、点字図書館や視聴覚障害者情報提供施設の図書制作機器やIT関係機器を整備します。

○ **介護拠点の整備の推進** **6, 976百万円**

6月：6,976百万円

- ・ 介護ニーズに対応するため、特別養護老人ホームの整備を促進します。

[整備予定数：484床]

- ・ 入居者が安全・安心に生活できるようスプリンクラーの設置を支援します。

[整備予定数：109施設]

- ・ 入居者の居住環境改善のため、軽費老人ホームのバリアフリー化を進める改築を支援します。

○ 福祉・介護分野における人材確保・定着の推進 5, 675百万円

2月： 467百万円 当初： 40百万円 6月：5,168百万円
(一部の事業は雇用対策事業として実施しています)

(1) 介護福祉士等の人材確保

介護福祉士・社会福祉士養成施設の入学者に対し学費等の修学資金を支援します。

[貸付予定人数] 90人程度

[貸付限度額] 月額50千円、入学準備金200千円、就職準備金200千円

(2) 人材の確保・定着のための福祉・介護職員の処遇改善の促進

- ・ 福祉・介護サービスの提供が充実するよう人材確保と求職者の就職・定着促進のために、福祉・介護職員の賃金の引上げ等の処遇改善に取り組む事業者を支援します。

(3) 求職者と介護職場とのマッチングの推進

- ・ 求職者の介護職員資格取得の支援と併せて、社会福祉協議会に緊急的に雇用の場を確保します(再掲：雇用対策)。

[雇用予定人数] 100人程度

- ・ 県福祉人材センターにキャリア支援専門員を配置し円滑な就労を支援します。

○ 子育て支援対策 2, 324百万円

2月： 757百万円 当初： 241百万円 6月：1,326百万円

(1) 安心こども基金を活用した施設整備や生活支援

- ・ 待機児童の解消など子育て環境の改善を図るため保育所や放課後児童クラブの整備や改修等を促進します。
- ・ 母子家庭の自立が図られるよう、就業に必要な技能や資格取得の支援を拡充します。

(2) 子育てする方々を地域みんなの力で支援

- ・ 子育て中の方が気軽に参加、交流することができる場である「子育てサロン」活動の充実を図ります。
- ・ スーパーや商店などで、乳幼児連れの人が自由に利用できるトイレや授乳コーナー等の整備を促進します。

[整備支援予定数：100か所]

(3) 特定不妊治療費の助成拡大

特定不妊治療(体外受精・顕微授精)費に係る経済的負担の軽減を図るため、助成額の上限を引き上げます。

[助成額：1回あたり10万円→15万円]

○ 妊婦健康診査の支援 6 1 4 百万円

2月： 429百万円 当初： 185百万円

妊婦が費用負担を心配せずに必要な回数（14回程度）の妊婦健康診査を受けることができるよう必要な経費に対する公費負担を充実します。

○ 自殺防止のための総合対策 1 5 3 百万円

6月： 153百万円

自殺予防シンポジウムの開催や自殺予防のための広報啓発、電話相談員の増員を図るための研修事業を実施し、自殺予防対策を強化します。

○ 就職活動中の離職者のための臨時特例的なつなぎ資金の貸付け

9 百万円

6月： 9百万円

就職活動中の離職者が、生活保護など公的支援が受けられるまでの間に必要な当面の生活費の貸付けを実施します。

[貸付限度額：上限10万円]

○ 新型インフルエンザ対策 7 0 4 百万円

当初： 369百万円 6月： 335百万円

抗インフルエンザ薬の追加備蓄、発熱外来を設置する医療機関への支援、ウイルス検査に必要な機器等の整備など新型インフルエンザに対応した医療体制の整備を推進します。

[H21年度末備蓄予定数量：県人口に対して45%(*)相当の数量を確保]

(*)45%：国が備蓄の目標としている数値(国備蓄分・流通分を含む)